御岳山から吉野梅郷へとたどる尾根歩き、日の出山からは関東平野を一望

(2019/7/30)

服部 記

梅雨明けて急に暑くなった７月 30 日（火）、御嶽山一日の出山一吉野梅郷（よしのばいごう）尾根歩きに行ってきた。ハイキング部定例ハイクで、女性２名、男性５名の精鋭部員が参加した。今回はケーブルカーを使い、御嶽に登るも山頂には行かず、ほぼ平坦な日の出山頂まで歩き、それ以降は稜線を下り、日向和田駅（ひなたわだえき）を目指すという初心者向きのコースである。ただ、歩行距離は 10ｋｍを超えるやや長丁場なコースである。初心者向きとはいえ、山歩きという事で敬遠されたのか、経験者には物足りないと判断されたのか総勢７名というやや少ない参加数になった。

５月末、計画立案の際、梅雨の時期をどうするか考慮して、７ 月最後の火曜日に設定した。これが功を奏し、長い梅雨も明けての開催日となった。しかし、今度は暑さが心配である。また、山岳地域で起きる夕立も心配になる。そこで参加者には少し重くなるが、雨具と飲み物、少なくともペットボトル３本の携行を事前に推奨した。

予定時間に全員御嶽駅に集合する。すると、臨時バスが増便されており、時間の無駄なくすぐ出発することになった。バスはほぼ満員でケーブルカーの麓駅へ、ここでもまた臨時便があり、すぐ出発。平日にもかかわらず何ともありがたい配慮である。昨今の平日に歩きまわる老人パワーのなせる業であろう。ともかく、これで 20 分間の時間節約になる。山上駅で準備体操をしていると、８月１日からのレンゲショウマ祭りのポスターが目に入る。まだ２日早い、お店に聞くとあまり咲いていないという、しかし、せっかくだからと少し寄り道をしてレンゲショウマ群生地に行くも、すべて蕾状態、結局咲きはじめを１輪見つけたに過ぎない。これでは「全く咲いていない」が正しいとぼやく。

神代ケヤキの手前を御嶽神社への道から左にそれ、日の出山へ向かう。この道をたどると、ハイカーは極端に減る。ゆるいアップダウンの道を辿り、予定より早く 11 時に日の出山頂に着く。ここまで、山道の脇には可憐な山ゆりが咲いていた。独特の香りがする。頂上では先客が数名食事を摂っており、我々もそれぞれ日かげのベンチに場所を定め、楽しい昼食を摂る。同行の会員から、冷たいナシとパイナップルをご馳走になる。冷たくておいしい。多謝。

西の空には黒い雲が見える。それでゆっくりしているわけにはゆかず、歩きはじめる。基本はここからも下りである。しばらくは700m以上の標高があり、また樹林間で日陰の下、時々冷風も吹き、快適な歩行である。しかしたまに、ゴロゴロと音がする、雷？あるいは航空機？この音にせかされるように下山する。かなり下ってきたところで、流水に削られ溝のようになった山道の中央に50ｃｍぐらいの紐状のものが落ちている。あれ？マムシ？足を止めると、首を曲げこちらを見る。色は薄いが、その模様からマムシのようだ。マムシの色は個体差や地域差があり色調が異なる、しかし模様は一緒だ。頭の格好もマムシそのものだ。学生時代、山を歩くとよく出あったものだ。最近ハイキングで時々ヘビは見かけるもののマムシは見たことがない。参加者も初見の人が多かったようだ。猛毒は持つが、構わなければ襲ってくることはない（と言われている）。筆者の友人に、マムシを捕まえ、袋に入れるべくマムシを手で持ち咬まれた人がいる。すぐ病院へ行き傷口を切開し処置をしたものの、かまれた指が赤紫に大きく腫れた。腫れが引くまで１か月以上かかったと記憶する。当時はマムシを捕まえて瓶に入れマムシ酒を作ることが教室で流行っていた。

さて、そろそろ下山も終盤、梅の公園のすぐそばを通る。輪紋（りんもん）ウイルスに感染したここの梅木は皆伐（かいばつ）された。この時、麓の個人庭の梅も伐採した由、しかし平成29年、安全が確認され植栽が始まった。まだ梅の木は小さい。名所に復活するまで、10年単位の年数が必

要なのではないだろうか。下山し始めてすぐ、山を下りてからの反省会が話題に上る。所沢で飲むか、あるいは青梅で飲むか。麓に降りてくると日差しも強く、余計ビールの３文字が目の前にちらつく。自動販売機にビールがないか、ビールを求めながら歩くも、意外に酒類が入っている自動販売機は見つからない。結局見つからずに日向和田駅に予定より 10 分早く到着。駅の周辺にはお店の類は一軒もない。結局そのまま電車の時間が来て、所沢まで戻り、反省会、やっと冷たいビールが飲める。夕方６時まではまだ早く、半額でビールが飲める。ありがたいことだ、収入は減ったが、自由な時間を得た。平日の 16 時から、しかも半額でビールが飲める。定年後の楽しみの一つをこんなところに見つけて喜んでいる、全くおめでたい奴だと、自嘲する。でも、まあいいか。次回は９月１７日、芦ヶ久保からの二子山と聞く、次回はもっと多くの参加を期待したい。

ハイキング情報

１　**日程**　　７月　30 日（火）　**晴れ**

２　**行先**　　御嶽山(929m)・日の出山　　標高差 登り：98m　下り 714m

総歩行距離　10.6 ㎞　標準歩行時間　３時間 30 分

３　**集合場所・時間**　　青梅線　御嶽駅９時 10 分現地集合

４　**交通**(往路)　狭山市 7:25→所沢 7:38→7:41 東村山 7:51→7:54 小川 7:56→8:11 拝島 8:24→8:43 青梅 8:44→9：03 御嶽→（西東京バス）御岳駅 9:15→9:25 ケーブル下

（御岳山ケーブル）滝本 9:42→9:48 御岳山駅

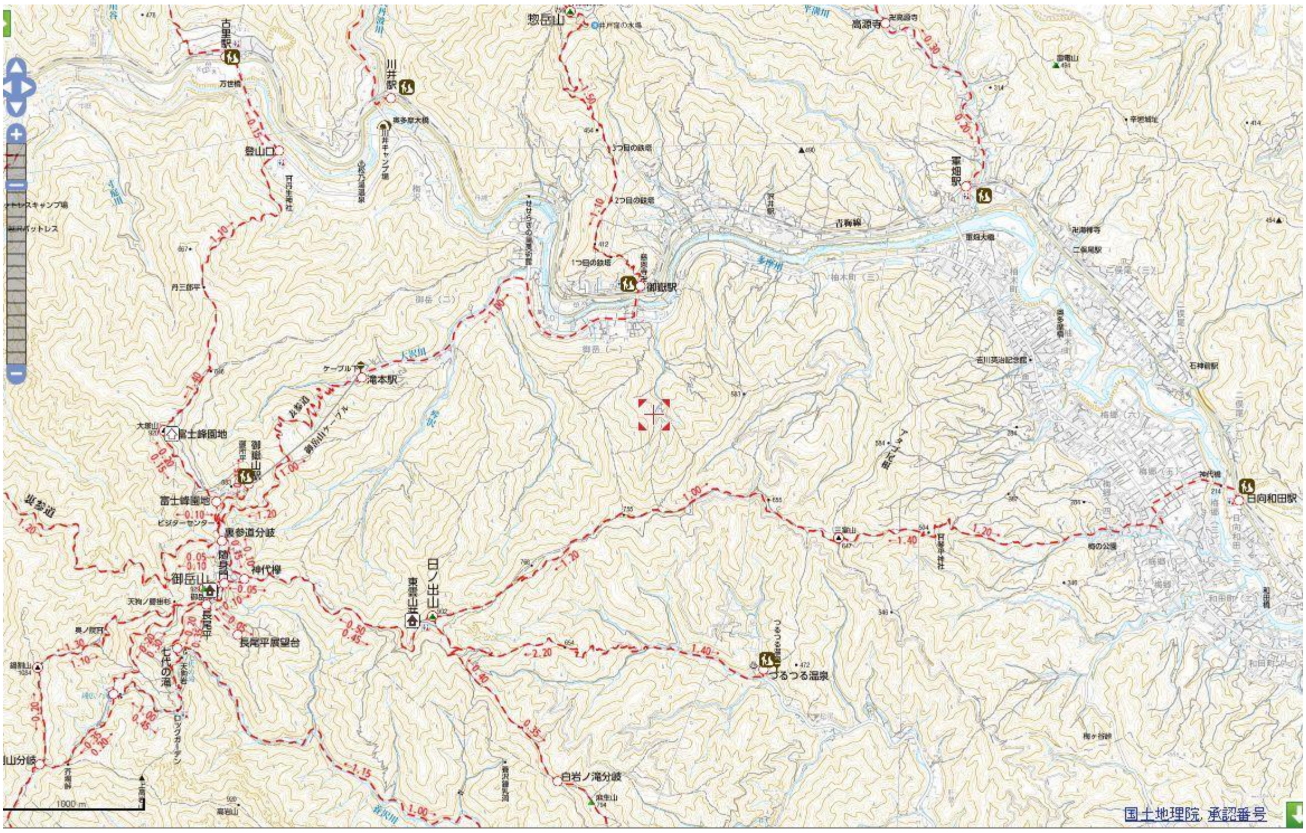
(復路)　日向和田駅 15:10→15:15 青梅 15:17→15:33 拝島 15:39→15:33 小川 16:00→16:03

東村山 16：08→16：12 所沢→16：23 狭山市

※日向和田駅発　14:25　15:55　あり

(交通費)　所沢→御嶽 655 円　バス 280 円　ケーブル 590 円　日向和田→所沢 483 円 合計 2,008 円

５　**コース（当日のコース所要時間）**　　9:40 御岳山駅（トイレ・体操）→11:00 日の出山・昼食 11:40→12:45 電波中継所→13:15 三室山→13:40 金比羅神社→14:40 日向和田駅


古里駅
万世橋
川井駅
川井キャンプ場
東多摩大橋
惣岳山
3つ目の鉄塔
2つ目の鉄塔
1つ目の鉄塔
高源寺
軍畑駅
青梅線
多摩川
登山口
御嶽駅
ケーブル下
滝本駅
表参道
御岳山ケーブル
大塚山
富士峰園地
御嶽山駅
東参道
ビジターセンター
東参道分岐
随身門
神代欅
御岳山
天狗ノ腰掛杉
奥ノ院
長尾平
長尾平展望台
七代の滝
天狗岩
ロックガーデン
鍋割山
日ノ出山
東雲山荘
三室山
梅の公園
白岩ノ滝分岐
つるつる温泉
吉川英治記念館
石神前駅
二俣尾駅
日向和田駅
神代橋
1000 m
国土地理院
承認番号